

公益社団法人 茨城県作業療法士会  
令和5年度 第1回理事会 議事録

令和5年4月29日10時00分、Web会議ツールZoomによるWeb会議において、理事17名、監事1名出席の下、第1回理事会を開催し、下記議案に付き全員一致をもって可決確定の上、12時00分散会した。

令和5年4月29日（土） 令和5年度 第1回理事会 10：00～

インターネット会議システムZOOMを使用し、Web会議形式で実施。

出席：（理事）大場、小森、寺門、筧、細田、荒井、後閑、唯根、柘植、田口功、浅野、栗原、服部、  
田中、岩本、大津、松本 17名

（監事）西

（書記）松本

（欠席）山倉、田口智、坂本、幸野、新堀、小山、稻葉、磯、木口 9名

【I 審議事項】

1. 外部監事の変更について

事務局 小森局長 ⇒ 承認

＜審議概要＞

- ・現在の外部監事である水野様から令和5年6月4日の代議員総会後より税理士法人IBC事務所代表荒木様に変更予定となっております。
- ・理事会推薦にて外部監事の選任となるため、承認をいただき総会にて報告を予定している。

＜審議結果＞

- ・理事会にて推薦、承認。

2. 総会当日の役割について

総務部 松本部長 ⇒ 繼続

＜審議概要＞

- ・今回の代議員総会が集合型とオンライン型のハイブリット型で行うため、現状の確認と総会当日の役割分担について審議いただきたく議案に上げた。
- ・当日の受付について参加方法は会場参加とZOOMでの参加と別々に名簿・受付表を作り対応する予定。
- ・ZOOMの受付は荒井理事が行い、研修会の受付は教育学術局で行っていただき、代議員総会の受付は事務局で行う。
- ・代議員総会時、遅れて参加される方に関しても事務局で対応する。
- ・会場のレイアウトに関してパソコンは3台用意し、映像用とZOOMの入室確認用、壇上のパソコン用に分けて必要なのではないか。
- ・外部カメラを共有できないかもしないため、確認する必要がある。
- ・5月中旬ごろ事務の水野さんにワンタイムパスワードで医療大のパソコンにZOOMの接続を行う。
- ・医療大のWi-Fiを使う場合、医療大のパソコンを使う必要があるため、個人のパソコンを使うのは難しい。
- ・筧局長の研修は動画で投影する予定のため、画面共有だとうまく映らない可能性があるためその際は後ろからカメラで写した映像を流すようにすればよいのではないか。
- ・理事、代議員の会場出席の方は旅費請求書を出してもらい、後日振り込む予定。旅費精算書はデータで送っていただく。
- ・県学会の学会長と実行委員長は研修時の最後と代議員総会時の最後のどちらも話していただく予定。

＜審議結果＞

- ・旅費請求書に関しては総務部で役員に連絡をする。
- ・会場設営に関しては後日、県立医療大学で唯根理事、木口理事の協力のもと準備を進める。
- ・その時に総会で使うパソコンにZOOMのアカウントを入れる予定。

3. 令和4年度決算報告および会計監査結果、事業報告について  
財務部 後閑部長・法人対策委員会 荒井委員長 ⇒承認

<審議概要>

- ・令和4年度の収支報告、および会計監査が4月29日9時から行われ、その結果を報告する。
- ・令和4年度の収支について、収支相償・遊休財産額・公益目的事業比率・会費充当割合の4つの公益認定基準を満たすことができた。
- ・貸借対照表について公益目的事業財産を例年100万円のところ50万円増額し、150万円になった。これは認知症VARの新規作成にあたり、例年より高くなっている。
- ・収入に関しては年会費を例年8000円のところ7000円に変更があったが、研修収入など含めると増収となった。
- ・支出に関してネットバンキングの使用や研修の入会費などの増加がみられる。経常費用について謝金・給料手当などが増えている。
- ・令和3年度より216万円の多く支出している。(フレイル動画や虐待防止など)
- ・2年連続で支出が増えているが、公益認定基準を満たすため、あえて支出は増えている。
- ・会計監査時も問題なかった。
- ・令和4事業報告を作成した。再度確認いただき問題なければ、公益法人インフォメーションへの添付、代議員総会議案書へ入れ込み郵送の準備を進める。

<審議結果>

- ・理事会承認となる。

4. 第15年茨城県作業療法学会について 学会部 浅野部長 ⇒ 繼続

<審議概要>

- ・今年度から学会長を理事から選出、実行委員長に関して学会長が2名選出予定。
- ・今年度は常任理事ではなく、理事からの選任する予定で今年度は柘植理事が決まった。
- ・実行委員長に関しては浅野部長と相談をして実行委員長は検討する。
- ・総会時研修後と代議員総会後に挨拶予定。
- ・学会の時期に関して2月より早めに行えると決済が早く行えるのではないか。
- ・早くする場合、新人の学会発表の準備が不十分のではないか。
- ・会計年度を動かす方法もあるが、どちらで進めるべきか今後検討が必要。
- ・学会時期に関して今年度はあまり動かさず、次年度検討するほうが良い。

<審議結果>

- ・学会長は柘植理事で実行委員は今後検討していく。
- ・学会の開催時期に関して今後検討する。

5. 認知症VARのデバイスのブラッシュアップについて 大場会長 ⇒ 繼続

<審議概要>

- ・令和5年度、広報局で認知症の普及活動に関してVR・ARの新しいものにできればと考えている。
- ・他県や他団体などの外部からも貸出依頼が来ているため、今後も運用していくのにブラッシュアップが必要なのではないか。
- ・普及活動も販売に関しても公益事業になる。
- ・新しい事業に関して先ほど話に出た公益目的事業保有財産を使用できればと考えている。
- ・VR・AR作成にあたり広報局でグループを作って進める必要がある。

<審議結果>

- ・進め方に関しては広報局と相談しながら進める

【II 報告・連絡事項】

- ・令和4年6月4日(日)代議員総会後 茨城県立医療大学にて開催予定

以上